

岩手県における港湾脱炭素化の取組について

①国および岩手県の温室効果ガスの削減目標

■ 環境省 地球温暖化対策計画（抜粋）

国	<p><u>2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする</u>、すなわち、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す。</p> <p style="text-align: center;">～中略～</p> <p>さらに、2050年目標と統合的で野心的な目標として、<u>2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し</u>、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていく。</p>
---	---

■ 岩手県 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画（抜粋）

岩手県	<p>計画期間を超えた長期的な目標として掲げた「<u>温室効果ガス排出量の2050年度実質ゼロ</u>」を踏まえ、</p> <p style="text-align: center;">～中略～</p> <p>国の地球温暖化対策計画に準じ、2013（平成25）年度を基準年度とし、2030（令和12）年度を目標年度とします。</p> <p>2013（平成25）年度の温室効果ガス排出量から、対策等による削減量及び森林吸収量を合わせた818万9千トン-CO₂の削減を見込みます。</p> <p><u>このことから、2030（令和12）年度の温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で57%削減（内訳：削減対策等47%削減、森林吸収10%削減）することを目指します。（部門別：産業部門41%削減、運輸部門32%削減）</u></p>
-----	--

岩手県における港湾脱炭素化の取組について

②大船渡港における温室効果ガスの削減目標値の設定

政府及び岩手県が掲げる2030年における温室効果ガス削減目標（2013年度比）は以下のとおり。

【政府】地球温暖化対策計画に基づく削減目標 **46%**

【岩手県】第2次岩手県地球温暖化対策実行計画（令和5年3月改訂）

部門別（産業部門）の削減目標 **41%**



大船渡港脱炭素化推進計画における2030年度の温室効果ガス削減目標値は、今後実施していく温室効果ガス排出量の推計結果等を踏まえ、上記の政府や岩手県の削減目標を参考としながら目標設定していく。

（第2回協議会で目標設定について、議論する予定）

岩手県における港湾脱炭素化の取組について

③久慈港、釜石港の計画検討状況

令和5年2月14日 第1回港湾脱炭素化推進協議会開催

議事：概要説明

令和5年11月8日 第2回港湾脱炭素化推進協議会開催

議事：温室効果ガス排出量の算出結果
温室効果ガス削減目標の設定

現在 計画素案の作成中

温室効果ガス排出量、吸収量のとりまとめ、
水素・アンモニア需要推計及び供給目標の検討
削減目標達成のための具体的取組内容の検討、
促進事業のとりまとめ、削減効果の集計
ロードマップ作成 等々

主な検討取組事例（構想含む）

- ・太陽光発電の導入（社屋屋根など）
- ・再生可能エネルギーの導入（排出係数ゼロの電力購入など）
- ・低炭素型荷役機械、車両、船舶の導入
- ・石炭火力の次世代エネルギーへの転換（アンモニア、バイオマス燃料など）
- ・照明設備のLED化（道路灯・公園灯や上屋内照明器具など）
- ・ブルーカーボン（藻場の造成や保全）